

舞踊学会第18回定例研究会報告

○開催日：2013年6月15日（土）9：30～18：00

○会 場：学習院女子大学

〔プログラム〕

一般研究発表 A会場（2号館3階235教室）

時間	発表者	タイトル	座長
9：30～10：30	花輪 充	教員養成を前提とする演劇的表現プログラムの開発と取り組み —短大保育科学生によるミュージカルの創作と実演を通して—	八木ありさ
10：30～11：00	小沢 徹 丸茂美恵子 三戸勇気 川上 央 入江寿弘 篠田之孝	スポーツと日本舞踊における「腰」に関する動作の考察	大貫秀明
11：00～11：45	宮川麻理子	大野一雄のデッサンをめぐって——創作メモと踊りの関連	國吉和子
11：45～12：30	ケイトリン・コーカー	日常の舞踏 —舞踏の第1～3世代における人間革命—	

一般研究発表 B会場（2号館3階237教室）

時間	発表者	タイトル	座長
9：30～10：15	松井 智子	フォーサイスと対位法	松澤慶信
10：15～11：00	北原まり子	戦前日本における『春の祭典』を踊る三つの試み—— E. ルトケヴィッツ（1931）、花園歌子（1934）、F. ガーネット（1940）	
11：00～11：30	渡邊絵理	石井小浪と学校舞踊	村田芳子
11：30～12：00	高橋佳子	川端康成と舞踊	杉山千鶴
12：00～12：30	吹田 響子	三番叟物の演出（詞章・扮装・型）に関する検討 ～「晒三番叟」「舌出し三番叟」「操三番叟」を題材に～	古井戸秀夫

昼食（理事会12：40～13：40 会場：2号館4階248教室）

美学会・舞踊学会共催シンポジウム「越境するダンス」 B会場：2号館3階237教室

		〔司会：尼ヶ崎彬〕	
14：00～15：50	第一部	開会挨拶 篠原資明（美学会会長、京都大学教授） 趣旨説明 尼ヶ崎彬（学習院女子大学教授） 講演 1 近藤良平（振付家・ダンサー、「コンドルズ」主宰） 講演 2 武藤大祐（群馬県立女子大学准教授、舞踊批評家） 講演 3 貫 成人（専修大学教授、舞踊批評家）	
16：00～17：30	第二部	討 論 近藤良平＋貫 成人＋武藤大祐＋尼ヶ崎彬 閉会挨拶 柴真理子（舞踊学会会長、お茶の水女子大学教授）	